

はしがき

英語を話したり勉強したりする際に、ここは動詞の過去形と現在完了形のどちらを使うんだらうとか、動詞の単純現在形と進行形ではどちらが適切なのだらうかと、迷ったりしませんか。The bus is stopping. という文は、「バスが止まっている」という意味なのでしょうか、それとも、「バスが止まりかけている」という意味なのでしょうか。「私は、パリは気が遠くなるほど美しいと思った」を英語にすると、I thought Paris was stunningly beautiful. と「時制の一致」を適用するのか、あるいは I thought Paris is stunningly beautiful. といいのか、迷ったりしませんか。

本書は、このような英語の疑問に答え、「時制」と「相」（アスペクト）（動作や状態の完了や継続を表わす文法事項）に焦点を当て、「時の表現」に関わる多くの謎を解こうとしたものです。きっと、言葉の背後に潜んでいる理路整然とした規則に気づき、言葉の面白さや不思議さを味わっていただけることと思います。

本書は10章からなり、第1章では、英語には「過去時制」と「現在時制」に加え、「未来時制」もあるのかどうかを考えます。学校文法（伝統文法）では、will が未来時を表わす「未来時制」だと言われ、日本語でも、will に相当する「～だらう／でしょう」が未来を表わす要素だと言われてきましたが、第1章では、これらが適切でないことを示します。第2章と第3章では、英語の動詞の現在形が、現在の事柄だけでなく、過去や未来の事柄でも指し示せる事実を観察し、現在形がどのような意味を表わすかを明らかにします。そして第4章では、過去形と現在完了形の違いを、ある国際学会で英語の母語話者ではない司会者が、過去形と現在完了形を間違えて使った表現をもとに考察したいと思います。次

に第5章では、すでに亡くなっている作家の行為について、過去形だけでなく、現在完了形を用いて、たとえば Shakespeare **wrote** a lot of plays. だけでなく、Shakespeare **has written** a lot of plays. のようにも表現されることに関して、Leech (2004) などは、現在完了形は使えないと述べていますが、本当にそうなのかを考えたいと思います。

第6章では、英語の進行形と日本語の「～ている」表現を取り上げ、それぞれがどのような意味を表わし、どのような共通点と相違点があるかを示します。特に、「ネズミがあそこで死んでいる」は、A mouse **is dying** over there. のように進行形で言うことができません。この章では、どうしてそのような違いが、英語の進行形と日本語の「～ている」表現の間にあるかを明らかにします。そして第7章では、マクドナルドのキャッチコピー *i'm lovin' it* (I'm loving it). を取り上げ、love のような状態動詞は、一般に進行形にはなりません。進行形を用いたこの広告文がどういう意味で、どのような場合に状態動詞は進行形になるかを明らかにします。

第8章では、「時制の一致」を考えます。特に、次の (a) 文に時制の一致を適用すると、(b) 文になるはずですが、どうしてこの (b) 文が不適格なのかを考えます。

- (1) a. He **says** that his son **graduates** from college **next spring**.
 b. *He **said** that his son **graduated** from college **the next / the following spring**. (graduated が、彼が発言した時より未来の出来事を指す解釈としては、不適格)

そして、時制の一致を考察する過程で、時制には、「絶対時制」と「相対時制」という2つの時制表現があることを示し、日本語の興味深い事実を指摘して、日本語でも同じようにこれら2つの時制があるかどうかを考えます。

第9章は、can の過去形 could に焦点を当て、could が「～できた」という過去の意味と、現在の事柄を述べて、「できる (のに)」という仮定法の意味を表わす場合が、どのように区別されるかを考えます。特に、日本語では「私は昨日パーティーを楽しむことができた／できなかった」のように言えるのに、これに対応すると考えられる次の英文では、(b) しか言えず、(a) がどうして言えないのかを明らかにします。

(2) a. *I **could** enjoy the party yesterday.

b. I **couldn't** enjoy the party yesterday.

最後に第10章では、現在の事柄を述べているにもかかわらず、助動詞や一般動詞の過去形、さらに進行形を用いて、丁寧な意味合いを表わす場合がありますが、どうして過去形や進行形だと丁寧な意味合いが生じるのかを考えます。また、あるアメリカ人が書いた文章を取り上げて、そこに控え目で丁寧な意味合いが、いかに巧みに表現されているかを見てみたいと思います。

本書ではさらに、進行形と丁寧表現に関して2つのコラムを設けました。コラム1では、成田空港と羽田空港で用いられている飛行機の到着アナウンスが、日本語と英語で食い違っていることを指摘し、どうしてそのような食い違いが生じたのかを説明します。コラム2では、ネイティブスピーカーが、確信の弱い意見を述べる時や、言いたいことを控え目に表現する場合によく用いる would を取り上げ、事例を観察しながら、日本人が使いこなすことが大変難しいこのような表現について説明します。参考にしていただければ幸いです。

この本を書くにあたり、多くの方にお世話になりました。特に Karen Courtenay, Nan Decker のお二人からは、本書の多くの英語表現に関して有益な指摘をたくさんいただきました。また、くろしお出版の岡野秀夫氏には、本書の原稿を何度も通読していただ

き、さまざまな助言をいただきました。ここに記して感謝します。

2013 年初夏

著 者

目次

はしがき *i*

第1章

Will は「未来時制」か? 1

- Will と「～だろう／でしょう」 1
- 「だろう／でしょう」は「推量」の助動詞 3
- 動詞の現在形が現在時と未来時を表わす 4
- He leaves for London tomorrow. と
He will leave for London tomorrow. 6
- Will は法助動詞 8
- Will のさらなる意味 10
- 結び 11

第2章

現在形は何を表わすか? (1) 13

- 現在形は「現在、過去、未来」のどれでも指せる? 13
- 現在形が表わす意味 (1)
—— 現在の状態 15
- 現在形が表わす意味 (2)
—— 現在の習慣的動作・出来事 19
- 現在形が表わす意味 (3)
—— 現在の動作・出来事の実況的報道 21
- 現在形が表わす意味をまとめると 24

第3章

現在形は何を表わすか？ (2) 27

- 過去や未来の事柄でも現在形で表わせるのはなぜ？ 27
- 過去の事柄をあたかも今目の前で起きているかのように報告 28
- 「歴史的現在」が慣習的に用いられるジャンル 30
- 未来の事柄が現在起こっているかのように確実 34
- 結び 37

第4章

過去形か現在完了形か？ 39

- はじめに 39
- 過去形が表わす意味 40
- 現在完了形が表わす意味 43
- 過去形と現在完了形の若干の意味の違い 47
- (1) の過去形の文はなぜおかしいか？ 50
- 結び 52

第5章

Shakespeare [wrote / has written]
a lot of plays. どちらも正しい? 55

- 過去形と現在完了形 55
- シェイクスピアは故人 56
- Shakespeare has written a lot of plays. は、
本当に間違いか? 58
- 人は死して「書物」を残す 59
- 「書く」行為以外は? 61
- まとめ 62

第6章

「バスが止まっている」は
The bus is stopping. か? 65

- 英語の進行形は日本語の「～ている」か? 65
- 英語の進行形 66
- 日本語の「～ている」形 (1) 69
- 日本語の「～ている」形 (2) 71
- The bus is stopping. はどういう意味? 74
- 結果状態の継続は英語ではどのように表現するか? 77
- まとめ 78

コラム① 「到着した」は is arriving か? 79

第7章

I'm loving it. なんて言えるの? 85

- マクドナルドのキャッチコピー、i'm lovin' it. 85
- 「マイクはキャシーを愛している」 86
- (4a-e)を英語にするとどうなる? 88
- 状態動詞は進行形にならないか? 90
- 状態動詞が進行形になるさらなる例 92
- I'm loving it. と言えるのか? 93
- 「見れば見るほど好きだ」も I love X の断続的連続体 96
- 結び 97

第8章

「絶対時制」か「相対時制」か? 99

- 「時制の一致」 99
- 時制の一致を受けるか受けないか? 103
- 時制の一致を適用しているのになぜ不適格? 107
- 「相対時制」と「絶対時制」 108
- (4a, b)に関して 111
- (13b)はなぜ不適格か? 113
- 過去形動詞は絶対に未来を表わさないか? 118
- BE 動詞以外の自己制御可能な動詞が
未来時解釈を受けられる例外的ケース 121
- 時や条件を表わす副詞節 124
- 日本語の「～前に」 127
- 日本語の「～後で」 130
- 結び 131

第9章

「試験に合格できた」は I could pass the exam. か? 133

- You could win a jeep. 133
- Could / Couldn't が
「できた／できなかった」という意味の場合 133
- 仮定法で使われる場合 136
- 過去の出来事が現在の仮定か? (1) 139
- Could, couldn't は「出来事」ではなく、「状態」を表わす 141
- 一般的能力か1回の出来事か? 143
- 「不可能状態」と「可能状態」の対照 148
- 疑問文の場合 151
- 過去の出来事が現在の仮定か? (2) 155
- まとめ 155

第10章

What were you wanting? は 「何を望んでいたの」という意味だけか? 159

- はじめに 159
- なぜ過去形が丁寧な意味合いを持つのか? 161
- 進行形も丁寧な意味合いを表わす 163
- 助動詞 could を用いた丁寧表現 166
- Would や might を用いる場合 168
- 実例の観察 171
- 結び 175

コラム② 「垣根ことば」と助動詞 176

付記・参考文献 183

Will は「未来時制」か？

第1章

● Will と「～だろう／でしょう」

中学校で英語を学び始めた頃、未来の事柄は will で表わされ、will は、「～だろう／でしょう」という日本語に当たると先生が言われたのを今も覚えています。そして、過去の事柄は動詞の過去形で、現在の事柄は動詞の現在形で表わされ、次のように、「過去、現在、未来」という3つの時 (time) は、英語でも日本語でも、それぞれ3つの形、3つの「時制」(tense)、つまり、「文が表わす事柄と発話時との時間関係を示す言語形式」で表わされるのだと暗黙のうちに考えていたように思います。読者のみなさんはいかがでしたでしょうか。

- (1) 過去時 —— 過去時制 (動詞の過去形)
 - a. He **was** in New York **last year**.
 - b. 彼は昨年ニューヨークにいた。
- (2) 現在時 —— 現在時制 (動詞の現在形)
 - a. He **is** in New York **now**.
 - b. 彼は現在ニューヨークにいる。
- (3) 未来時 —— 未来時制 (助動詞の will, 「だろう／でしょう」)
 - a. He **will be** in New York **next year**.
 - b. 彼は来年ニューヨークにいるだろう/でしょう。

(1a, b) では、動詞の過去形 was と「いた」が、彼の過去時 (昨年)

現在形は何を表わすか？ (1) 第2章

● 現在形は「現在、過去、未来」のどれでも指せる？

以前、ある高校の英語の先生から次のような話をうかがったことがあります。先生の生徒さんが、英語の動詞の現在形は、(1)のように現在のことだけでなく、(2)や(3)のように、過去や未来のことでもすべて表わせるので、動詞の過去形や未来のことを表わす will などとどこが違って、どのように区別すればいいのかと尋ねられ、とっさのことで、答えに窮したと言われました。

- (1) You **look** quite tired. What's the matter? [現在時]
「とても疲れているようですが、どうしましたか。」
- (2) Benjamin Franklin **writes** that early to bed and early to rise makes a man healthy, wealthy and wise. [過去時]
「ベンジャミン・フランクリンは、早寝早起きをすれば、人は健康に、裕福に、そして賢くなると書いている。」
- (3) My son **graduates** from college next spring. [未来時]
「息子は来春、大学を卒業します。」

(1) では、話し手が聞き手に話している発話時（現在）において、聞き手が疲れているように見え、聞き手の現在の状況を尋ねていますから、動詞の現在形 look, is は、現在の事柄を表わしています。一方 (2) では、ベンジャミン・フランクリン（米国の政治家・

現在形は何を表わすか？ (2) 第3章

● 過去や未来の事柄でも現在形で表わせるのはなぜ？

私たちは前章で、英語の現在形が表わす意味を次のように規定しました。

- (1) 英語の現在形の意味：英語の現在形は、動詞の表わす状態や動作・出来事が、発話時を中心とした現在において起こっていることを表わす。

しかし、前章の冒頭で示したように、次のような文は、現在形が用いられているにもかかわらず、現在において起こっていることを表わしているのではなく、過去に起こったり、未来に起こることを表わしています。

- (2) Benjamin Franklin **writes** that early to bed and early to rise makes a man healthy, wealthy and wise. [過去時]
- (3) My son **graduates** from college next spring. [未来時]

過去形か現在完了形か？

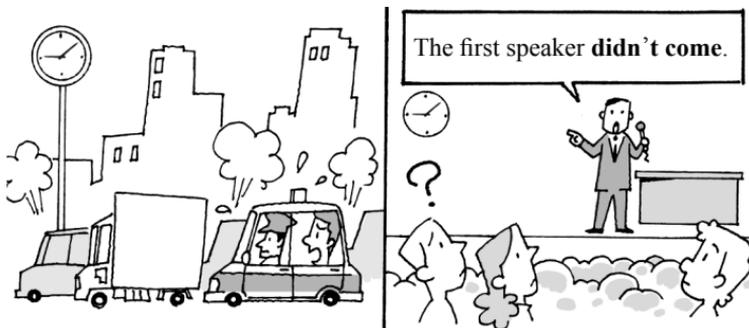
第4章

● はじめに

ある大学の理学部の先生から以前、次のような質問を受けたことがあります。先生が国際学会に出席されたとき、研究発表を聴きに会場へ行ったら、司会者がそわそわとし、発表者がまだ到着していない様子だったそうです。予定の時間が過ぎても始まらず、本部に確認に行き戻ってきた司会者が次のように言ったそうです。

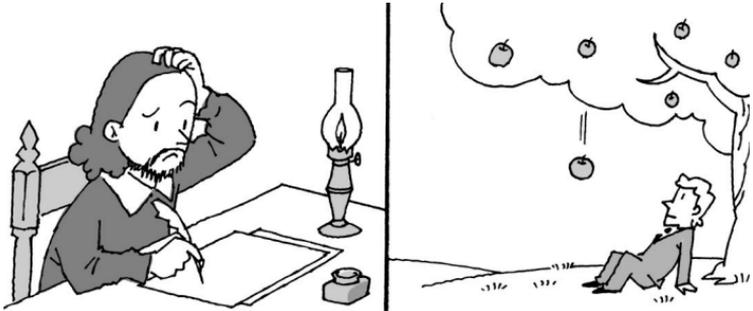
- (1) The first speaker **didn't come**. We **didn't receive** any information from him.

先生のご質問は、(1) の英文が正しいのかどうかということでした。



Shakespeare [wrote / has written] a lot of plays. はどちらも正しい?

第5章



● 過去形と現在完了形

私たちは前章で、次の (1a, b) のような英文は、日本語ではどちらも、「彼、来た？」と同じに表現されるものの、過去形と現在完了形は、その意味や用法に重要な違いがあることを観察しました。

- (1) a. **Did** he come? > 「彼、来た？」
 b. **Has** he come?

さて、それでは、次の日本語を英語に直すとどうなるでしょう。(3a) の過去形を用いた文が正しいことは、すでに明らかだと思いますが、(3b) の現在完了形の文も正しいのでしょうか。あるいは、(3a) のみ正しく、(3b) は間違いなのでしょうか。

「バスが止まっている」は The bus is stopping. か?

第6章

● 英語の進行形は日本語の「～ている」か?

英語のテストで、次のような問題が出たとします。

- (1) 次の日本語を英訳したものが、正しければ○、間違っていれば×をつけなさい。
- A. 彼女は今ピアノを弾いている。
She **is playing** the piano now.
- B. バスがあそこに止まっている。
The bus **is stopping** over there.
- C. 私は毎日聖書を読んでいる。
I **am reading** the Bible every day.
- D. お客様が次々と到着している。
The guests **are arriving**.
- E. スズメがあそこで死んでいる。
A sparrow **is dying** over there.

正解は、(A) と (C), (D) が○、(B) と (E) が×です。すべて正しく答えられましたか。

(1) の問題では、日本語の「～ている」という表現に対応して、英語ではすべて進行形が用いられています。しかしこの問題をやってみると、両者是对應する場合と、対応しない場合があると

I'm loving it. なんて 言えるの？

第7章

● マクドナルドのキャッチコピー、i'm lovin' it.

本章のタイトルの英語、I'm loving it (i'm lovin' it). は、みなさんもよくご存知のハンバーガーショップ、マクドナルド社が、2003年9月に使い始めたキャッチコピーで、アメリカだけでなく、日本でも幅広く知られています。この文の it は、マクドナルドの商品だけでなく、マクドナルドのお店やその雰囲気など、様々なものを指して、話し手がこの文で、「私はそれが好き！」とか、「これは美味しい！」など、色々な意味をこめたものと思われそうですが、動詞 love が進行形で使われています。私たちは前章で、英語の進行形と日本語の「～ている」表現について考察し、英語の進行形は次のような意味を表わし、日本語の「～ている」形が表わすような、ある動作や出来事の後に生じる状態の連続は表わさないことを示しました。

- (1) 《英語の進行形の意味》英語の進行形は、継続的、または断続的動作・出来事が一定の時間内で進行、連続していることを表わす。

「～が好きである／～を愛している、～が美味しい」というのは、ある人や物の状態を表わしており、次に示すように、一般に進行形で用いられることはありません。

「絶対時制」か 「相対時制」か？

第8章

● 「時制の一致」

読者のみなさんは、英語の複文で、主節の動詞が過去時制のときは、原則として従属節の動詞も、それに合わせて過去、または過去完了の形にするという「時制の一致」について、もうよくご存知のことでしょう。次の文を見てみましょう。

- (1) a. Then, John said, “**I am** very hungry.”
 b. Then, John said that **he was** very hungry.

(1a) は、ジョンが言ったことをそのまま伝える「直接話法」ですが、これを「間接話法」にすると、(1b) のように、従属節の I は he になり、動詞 am は時制の一致により、was になります（【付記1】参照）。

動詞 know は、直接話法の目的節をとらない動詞ですが、(2) に示されているように、この動詞にも、時制の一致現象が見られます。

- (2) a. I **know** John **wants** to go to Paris.
 b. I **knew** John **wanted** to go to Paris.

(2a) は、その発話時のジョンの希望を話し手が知っていることを述べる文ですが、(2b) では、主文の動詞が過去形の knew に

「試験に合格できた」は I could pass the exam. か?

第9章

● You could win a jeep.

筆者の一人が以前、ボストンにしばらく住んでいた時のことでした。知り合いの日本人の方がある日、自動車会社からのハガキを見せてくださって、「昨日このハガキが届いたのですが、何かジープが当たったようなんです！」と興奮気味に話されました。私は、「ワッ、すごい」と言って、そのハガキを見せてもらうと、ジープの絵が真ん中に描かれ、上に大きな字で次のように書いてありました。

(1) You could win a jeep.

Can は「できる」、したがって、その過去形の could は「できた」、win は「〈商品・賞金などを〉当てる、勝ち取る」という意味ですから、(1) は、「あなたはジープを当てる（勝ち取る）ことができた」、つまり、「あなたにジープが当たりました」とその人は解釈され、その喜びと興奮で、上のように話してくださったわけです。さて、本当にジープが当たったのでしょうか。

● Could / Couldn't が「できた／できなかった」という意味の場合

Could は、上で触れたように、can の過去形として用いられ、

What were you wanting? は「何を望んでいたの」という意味だけか?

第10章

● はじめに

私たちは本書の第4章で、英語の過去形が表わす意味を次のように規定しました。

- (1) 英語の過去形の意味：英語の過去形は、動詞の表わす動作・出来事や状態が過去において起こったことを表わし、それらが現在には及んでいないことを示す。

この規定は一般的には正しいと考えられますが、しかし、過去形が現在とは切り離された過去の事柄を常に表わすかということ、そうではない場合が3つあります。

その1つは、第8章で考察した「時制の一致」によるものです。次の例を見てみましょう (Quirk et al. (1985: 188))。

- (2) A: How did you know that I **was** Max Wilson?
 B: Well, I remembered that you **were** tall, and **wore** glasses.

(2A) と (2B) の質問と応答で、was, were, wore が過去形なのは、主節の動詞との時制の一致によるもので、過去の状態を表わしているわけではありません。つまり、人の名前や特徴はそうめったに変わるものではなく、これらの文は、話し手 A が Max Wilson